

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	水産課長 細馬 康二	電話番号	0852-22-5311
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	栽培漁業センター管理運営委託事業		
目的	(1) 対象	漁業者	
	(2) 意図	種苗生産業務の民間委託を実施することで、種苗生産の効率化と安定化を実現し、栽培漁業の振興による水産資源の増加と漁業経営の安定化に貢献する。	
事業概要	種苗生産業務を（公社）島根県水産振興協会に委託する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	種苗生産尾数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		2,375	2,375	2,375	2,375	
式・定義	種苗生産尾数	種苗生産尾数	実績値	2,697	2,967	2,382	2,642		
			達成率		124.90	100.30	111.30		%
指標名	式・定義	種苗生産尾数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義	種苗生産尾数	種苗生産尾数	実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	103,789	103,828
うち一般財源(千円)	73,508	73,508

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

県の駐在員、水産技術センター、水産事務所によるサポート体制を整え、技術移転を効率的に進める体制を整えており、協会職員の技術力も確実に向上している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 平成22年度より生産と施設管理を本県の栽培漁業推進母体である、水産振興協会に委託し、生産から中間育成、放流、効果調査まで一体的に効率よく進める体制を整えた。
- 県の駐在員による基本的な技術移転は、平成26年度で完了した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- H21～H22年度に実施した大規模改修の対象外施設・備品の破損・故障が発生している。
- H27年度以降は、水産振興協会の職員のみで種苗生産を実施する。

②困っている状況が発生している「原因」

- 大規模改修の対象外施設・備品の耐用年数が過ぎている。
- 基本的な技術移転は完了したが、突発的な事故に対応できるかが不安。

③原因を解消するための「課題」

- 修繕費、備品更新費用を確保する。
- H27年度以降も県が技術サポートをする必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 管財課が策定した維持保全計画に基づき修繕費用を確保するとともに、備品更新費用についても逐次確保していく。
- 種苗生産状況について、逐次情報を収集していき、必要時に県がサポートできる体制を水産振興協会と検討していく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）